



DISTRICT 2500 OBIHIRO ROTARY CLUB

No. 2934

第3252回例会

平成23年5月25日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS
(地域を育み、大陸をつなぐ)

方針 **友情と信頼** 会長 後藤 裕弘

■プログラム

ロータリー財団委員会

「ロータリー財団の始まりより未来へ」

RI第2500地区財団補助金小委員会 委員

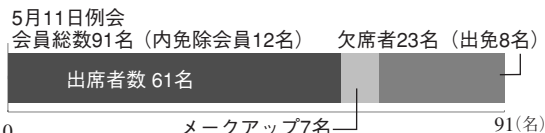
奥 周盛 会員



最近のロータリー財団の新しい動きについてお話をさせていただきます。

まず一点ですが、ロータリー日本財団というものが入りました。一昨年の2009年に一般財団として立上ったのですが昨年の12月に公益財団法人の認定を取り、4月から正式に稼働しております。財団の年次寄付や恒久基金、ポリオプラスなどの寄付の窓口になる財団です。大きく変わったのは、税制上の優遇措置が受けられるようになったということです。現時点では、恒久基金の方はまだその取り扱いを受けてはいませんが、もう手続きは終わっており7月からの受け付け分に関しては、優遇措置が受けられるそうです。このことで、ロータリー財団に対する寄付についてはすべて税制上の優遇措置が受けられるため、ますます寄付がしやすくなりました。2点目は、「ロータリー日本地震災害復興基金」です。国際ロータリーの財団が立ち上げた基金で、災害の義援金を受け入れており、2011年12月31日まで受付しております。この窓口も先程ご紹介したロータリー日本財団となっています。これは世界中から寄付を募る基金となるわけですが、日本国内からも寄付ができます。さらにこの基金を利用することもできます。ただし、被災地でのプロジェクトに限定されます。この基金の補助を受けてプロジェクトを実施するには、マッチンググラントの手法で管理をするということになっております。必ずパートナーが必要になり、日本国内のクラブと海外のクラブとがパートナーシップを結んだ上で実施し、それぞれのクラブがキャッシュでいくらかの資金を用意することによりそれに上乗せする形でこの基金がファンドをつけるというやり方になります。3点目は、ロータリーの2億ドルのチャレンジです。ビル&メリンダゲイツ財団からの総額3億5千5百万ドルの寄付をいただき、それにマッチングするようにロータリーが2億ドル集めるというキャンペーンです。2012年6月30日までに達成するという目標ですが、現在4月の時点で1億6千3百40万ドル集まっているそうです。2500地区としては地区内の全会員に一人2000円の寄付のお願いを3年間継続してきました。しかし次年度からはこの寄付に終止符を打つということが決まっていますが、ポリオプラスに対する基金は終わったわけではありません、次に、「未来の夢計画」についてです。1917年に創設されたロータリー財団が2017年に100周年を迎えます。これに向けてロータリー財団のプログラムを新しく見直そうという改革が「未来の夢計画」です。現在は今年度から始まった3年間のパイロット期間となっています。世界から100地

出席報告



区だけ選定され、その地区で試験的に実施をされています。国内からは6つの地区が指定されております。この3年間の試験期間が終わると全面的に導入されます。ですから来年度くらいにはプログラムを熟知する準備期間が必要になります。みなさんもぜひそのことを頭に入れておいてください。これから財団セミナーなども行われますが、担当になった委員会はもちろんのこと会長・幹事はいろいろな情報を得ていただきたいと思います。最後になりますが、地区補助金についてです。当クラブも先日太陽福祉会へ車椅子を寄付しましたが、ここで使われている資金の一部が補助金です。新年度も同じく地区内と各クラブで使えるように準備しています。受付窓口申請の取り扱いは各分区分のガバナー補佐にお願いをしています。ぜひこの補助金を利用するプロジェクトがあればエントリーをしてください。

ロータリー日本財団、未来の夢計画などのプログラムの変更によって、ロータリー財団が日本のロータリアンにとって身近になったのではないかと思いますし、ますますのみなさんのご理解をお願いする次第です。ありがとうございました。

ロータリー財団委員長

小澤 昌博 会長



帯広ロータリークラブの今の財団関係の寄付の状況を報告させていただきます。現在、年次寄付などを合わせ569,800円となっています。また東日本大震災への寄付を104万円いただいております、合わせて160万円という金額になります。先程のお話のように寄付の税の控除もありますので、次年度もよろしくお願ひします。今年度は、帯広クラブからのマルチプル・ポールハリスフェローの表彰が非常に多く、私も助かっております。冒頭で讃岐会員の表彰もありましたが、先日は平原会員が8回目の表彰、以前は中田会員も8回目の表彰でした。また、現在メジャーダナーと呼ばれる1万ドル以上の寄付は、現在田中バスターガバナーしかおらず、こちらの方もぜひみなさんよろしくお願ひします。

本日はこのあとDVDを見ていただきます。2004年にスリランカで津波がおきて、そのときにロータリアンが活動した学校再建のプロジェクトのDVDです。それではご覧ください。

■会長報告

後藤 裕弘 会長



先日5月14日に、富良野RCの50周年があり出席してまいりましたが、そのお礼状が参っております。50周年の節目を継起としてクラブ会員一同ロータリー活動に傾注してまいりたいと存じます、とのことです。

さて、時節柄総会シーズンということで、皆様におかれまして、お忙しい日々を送っておられることと拝察いたします。私自身、数えてみますと5月だけで12回の総会があり、その多くに役員会があります。日程が重複して欠席せざるを得なかった総会が3度ありました。そんなわけで、事日の会長報告のネタを考える時間が取れず、以前から考えていた、当帯広ロータリークラブの最も誇り高い先輩の一人であられる宮脇 富様についてお話しさせていただきます。田中PGから資料をお借りしていたのですが、時間が取れず、まだまだ、さわりしか解っておらず詳しい方には、とても申し訳ないのですがお許しを頂きたいと思います。宮脇富PGの、富という文字は、ウ冠の富（富山県の富）という字と、上に点の無いワ冠の富という字があり、インターネットで宮脇様を検索したところどちらも出てきますが、畜産大学のHPに使われ、田中PGの著書にも使われていたワ冠が正解と思われます。さて、その宮脇富様は、明治16年8月18日に島根県大田市でお生まれになりました。14才で北海道に渡られ札幌農学校（現北大）を卒業。その後、アメリカに渡られカンザス州立農大で酪農を研究、世界で初めて搾乳機を実用化させました。

明治44年、帰国して東北帝大農科大（現北大）の助教授、教授をされ、昭和7年、札幌ロータリークラブのチャーターメンバーとして活躍。2年目に幹事をされ、第7代会長をされました。昭和16年帯広高等獣医学校の校長となり、昭和24年帯広畜産大学初代学長に就任されました。その間、戦時中ロータリーが中絶されていた間は、札幌職能倶楽部として活動を続け初代会長を務められたということですが、当時畜大に在籍中で、どのようにして出席されたかは調べが付きませんでした。ただ、余りにロータリーに熱心で学校へは出勤率が悪かったとの記載もありました。昭和25年に札幌RC会長の福山甚三郎氏から要請を受け、帯広クラブ復活に向け数人の有志を集め、復活に向けて協議を重ね、12月にはチャーターメンバー34名で復活にこぎつきました。昭和27年に離帯していますが、翌年、昭和28年には札幌RCの在籍で、第60地区のガバナーをされ、多くのクラブを新設されました。また、ここが一番重要なことですが、戦前から要望されていた、手続要覧の日本語訳について、手島知健PG（1949～5160地区ガバナー 東京RC）が行っていましたが、手島PGが病に倒れてからは宮脇様がこれを引き継ぎ、完成させております。昭和43年5月29日にご逝去されるまで「戦後、日本のロータリークラブの育ての親」とされている方です。宮脇様についてネットで調べていきますと、随分多くのサイトに記述されており、私自身さわりだけしか調べておりませんが、こんな大活躍をされた先輩が帯広クラブにおられたということは、当クラブの大変な誇りでございます。田中PGの執筆された「ロータリー雑録」にも詳しく載っておりますが、是非、皆様ご自身でも調べになることをお勧め致します。

■会務報告

讃岐 武史 幹事

(1)帯広RC、次年度第3回クラブ協議会開催のご案内

日 時 5月25日（水）午後6時
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
会 費 2,000円

(2)帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 5月26日（木）午後6時30分
場 所 北海道ホテル

(3)帯広東RC、5月31日（火）は休会と致します。

(4)帯広RC、第6回クラブ協議会開催のご案内

日 時 6月8日（水）午後6時
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
会 費 2,000円

・来月のロータリーレートは82円です

・退会報告

山下 英世 会員・小部 敏一 会員・河合 博 会員・小山 哲史 会員
・震災の義援金が104万円となりロータリー財団へ送金しました。
・事務局の山岸さんが手術のため入院されましたのでお見舞いを差し上げました。

■委員会報告

・新世代委員会

大江 徹 委員長

帯広市と姉妹都市のマディソン市から、児童や精神障害者のNPOの関係者7名が6月5日から帯広市に來られ滞在されます。帯広ローターアクトの6月の第一例会で、彼らとのシンポジウムを開催することになりました。出席いただける方は、委員会までご連絡ください。

・ロータリー財団委員会

小澤 昌博 委員長

マルチプル・ポールハリスフェロー
讃岐 武史 会員（8回）

・出席報告

及川ゆかり 委員

5月25日の例会 会員総数91名（内免除会員11名） 出席者数52名
5月11日の例会 メークアップを含む出席数及び出席率 68名82%

・ニコニコ献金

小林 善之 委員

小山 哲史 会員

大変短い期間でしたが、多くの方々と交流ができましたことに感謝いたしております。本当にありがとうございました。

中森 保 会員

4月下旬より体調を崩し十日間入院しました。皆様に御心配をお掛けしました。今では元気になりました。最後ですが、当クラブからお見舞いを頂き御礼申しあげます。

小澤 昌博 会員

本日の例会担当ありがとうございます。

・配偶者お誕生祝い 堀江 威光 会員

・ご結婚祝い 中森 保 会員

■次週プログラム予定

6月1日(水)「ゲスト卓話」(プログラム委員会) 帯広市選挙管理委員会 大林 敏郎様

ロータリーミニ見聞情報

帯広市姉妹都市マディソン市とはアメリカ五大湖の南西部に位置したウィスコンシン州の州都である。近くにはビールの街、ミルウォーキーがある。映画「マディソン郡の橋」のマディソン（アイオワ州）ではない。保健福祉体制が充実しており、特に精神保健では世界から「マディソンモデル」と呼ばれている。帯広マディソン交流協会には讃岐武史会員が事務局を務め、数多くのメンバーが役員・理事を務めている。



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例 会 日/水曜日 12:30～13:30

例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創 立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発 行/クラブ広報

●委 員 長/倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・後藤 利之・高見 英樹・堀江 威光

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.jp